

避難

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人一人違います。
それぞれが自ら判断し、「自分の命は自分で守る」という意識を持って行動しましょう。

避難場所の確認

ハザードマップを確認しましょう。

自宅周辺に浸水想定区域や土砂災害警戒区域などがある人
周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。

自宅周辺に浸水想定区域や土砂災害警戒区域などがない人
自宅での安全確保の備えや、周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。



避難のタイミング

住民がとるべき行動等 (警戒レベル)

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動等	町の対応 (避難情報)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ※ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保 (※町が発令)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示 (町が発令)
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障がいのある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難 (町が発令)
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	防災体制
1	今後の情報に留意	災害への心構えを高める	情報収集

### 河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)

気象庁等が発表する情報	
洪水の情報(河川)	土砂・浸水の情報(雨)
5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害) (浸水害)
4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報 (土砂災害) (浸水害)
2相当 氾濫注意情報	(警報に切り替わる可能性が高い) 大雨注意報 洪水注意報

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報の発令判断をすることから、避難情報と警戒レベル相当情報の出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難情報の発令は、町全域のほか小学校区など区域(範囲)を絞って行うこともあります。

**警戒レベル5**はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。

**警戒レベル3 高齢者等避難**や**警戒レベル4 避難指示**で、

地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

## 避難行動

「指定避難所」以外への避難先も検討しましょう。

公民館や学校などの指定避難所だけでなく、親戚や知人の家などを避難先として検討しましょう。

### ● 立退き避難(水平避難)

避難所など安全な場所への避難



※夜間に大雨が予想されるときは明るいうちに避難することが大切です。

### ● 屋内安全確保(垂直避難)

自宅内の高い場所へ避難



がけや山が隣接しているときは離れた部屋へ避難



※屋外が50cm以上浸水している場合や夜間の避難は危険です。自宅の2階など高いところに避難しましょう。

## 避難のポイント

### ● 速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。



### ● 非常用持ち出し品は最小限に

非常用持ち出し品はリュックサックにまとめ、身軽に行動できるよう持ち出し品は最小限にしましょう。

### ● 家族の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持つ

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意して避難するときは持っていくましょう。

### ● 道が冠水しているときは足元に注意しましょう

できるだけ高いところにある道を選び、水路などに気を付けましょう。



### ● 一人暮らしの高齢者などには心配りを

近所に一人暮らしの高齢者や病気の方がいる場合は、声をかけあって一緒に避難しましょう。

### ● 避難をする前に電気のブレーカーを落としガスの元栓を閉めましょう

避難している間の火事を防止するため確認しましょう。

### ● 連絡メモを残そう

外出中の家族がいるときは、「○ ○に避難している」などの連絡メモを残しておきましょう。



### ● 車での避難は控えて

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

### ● 避難所に避難するときは

水や食料、常備薬などのほか、感染症対策に体温計やマスク、アルコール消毒液などを持っていきましょう。



# 避難行動判定フロー

台風・大雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう。

平時に  
確認

「自分の命は自分で守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取組みましょう

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られて(ハザード内)いますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、

- ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまう河岸浸食のおそれの高い区域の外側である
- ②浸水する深さよりも高い位置に2階部分などがある
- ③浸水しても水がひくまで安全な状態を維持できる、水・食料などの備えが十分にある場合は、自宅にとどまり安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は、避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅**に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、町が開設した**指定避難所**に避難しましょう  
※町からの防災情報に注意しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅**に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、町が開設した**指定避難所**に避難しましょう  
※町からの防災情報に注意しましょう

# マイタイムライン

例として「台風が発生」してから「川の水があふれる」までを知ろう!!

確認してみよう!

地震はいきなりやってくるけど、  
台風はだんだんやってくるよ!

## 「台風が発生」してから「川の水があふれる」まで



3日前

1 台風が発生

天気予報で台風ができた  
って言っているよ。  
まだ雨や風は強くないね。



1日前

2 台風が近づいて、  
雨や風がだんだん  
強くなる

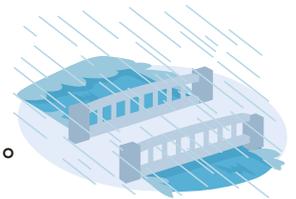
雨や風が強くなると、  
お出かけは大変だね。



半日前

3 雨が集まって、  
川の水がだんだん  
増える

自分がいるところで降って  
いなくても、上流で雨が  
降れば川の水は増えてくるよ。



7時間前

4 激しい雨で、川の水が  
どんどん増えて、  
河川敷にも水が流れる

このまま増えると、  
川の水があふれるかも。



5時間前  
↓  
3時間前

5 川の水がいっぱい  
あふれそう

もうギリギリ。川の水が  
あふれる前に、安全な  
ところへ逃げなきゃ!



0時間

6 川の水があふれた

川の水が一気に広がって、  
街じゅうが水びたし。  
こうなると動けないぞ。



# マイタイムライン

## マイタイムラインを作ろう

「台風が発生」してから  
「川の水があふれる」まで

台風発生から川の水があふれるまで  
どんな行動をするか書いてみましょう。

3日前

① 台風が発生

台風の情報調べ始める  
テレビ?インターネット?  
調べる方法はたくさんあるよ

1日前

② 台風が近づいて、  
雨や風がだんだん  
強くなる

避難するときに持って  
いくものを準備する  
もちものをリュックに  
入れると両手が使えるよ

半日前

③ 雨が集まって、  
川の水がだんだん  
増える

住んでいる場所の上流の  
雨の量を調べ始める  
上流で雨がふっていると、  
下流の川もあぶないよ!

7時間前

④ 激しい雨で、川の  
水がどんどん  
増えて、河川敷にも  
水が流れる

川の水位を調べ始める  
直接見に行かないように  
注意しよう

5〜3時間前

⑤ 川の水が  
いっぱい  
あふれそう

避難しやすい服装に  
着替える

0時間

⑥ 川の水が  
あふれた

安全な場所に移動を  
開始する

避難完了

# 避難所での過ごし方

避難所とは災害の危険性があり避難した住民などが、災害の危険性がなくなるまで必要な間、滞在できる、または、災害により家に戻れなくなった住民などが一時的に滞在できる施設です。限られた空間に多くの町民が避難してきます。マスクの着用やうがい手洗いの徹底など、各自、感染症対策に努めましょう。

## 避難所生活

### ● 避難所での過ごし方

- 貴重品は、必ず身につけておきましょう。
- トラブルを避けるため、所持品には名前を書いておきましょう。



### ● 避難所の運営について

- 避難所は、ホテルではありません。助け合いながら生活しましょう。
- 避難所を退所または、一時退所する際には受付で手続きをしましょう。避難者数を正確に把握することは、重要です。
- 食料品や毛布などのご持参にご協力ください。



### ● 災害弱者への配慮

- 高齢者や障がいのある人、妊婦の方には目配り、気配りを心がけましょう。
- 通路は、できるだけ広く取り、車いすなどがスムーズに通行できるようにしましょう。
- 感染症のみならず、熱中症や食中毒なども考慮するようにしましょう。

### ● 車中泊避難の注意点

- 車中泊避難は、プライバシーの確保などの利点もありますが、健康を損ねるなどの危険性もあります。エコノミークラス症候群による関連死、排気ガスによる一酸化炭素中毒に注意しましょう。

## 感染症対策

避難所には、多くの町民が避難することになります。

新型コロナウイルスやインフルエンザ、風邪など、感染経路が特定できない症例への対応が求められます。感染リスクを軽減するために、次のことについて留意しましょう。

### ● 避難者の健康状態の確認

避難所で健康状態を確認するため、避難される際は、自宅での検温にご協力ください。避難所での体調不良や異変に気付いた際は、速やかに管理者などへ相談してください。

### ● 手洗い、咳エチケットなどの基本的な対策の徹底

避難者や避難所運営スタッフは、頻りに手洗いするとともに、マスクの着用など咳エチケットなどの基本的な感染対策を徹底するようにしましょう。

### ● 避難所の衛生環境の確保

物品などは、定期的に清掃やアルコール消毒するなど、避難所共有物の衛生環境をできる限り整えましょう。

### ● 親戚や知人の家などへの避難の検討

避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は、親戚や知人の家・ホテルなどへの避難を検討しておいてください。

